

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.19
担当	にぎわい創出課
グループ名	地域振興グループ
記入者名	

## 1 事業概要

(1)事業名	観光施設等管理事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	活力ある産業のまち(産業の振興)				
②大項目	観 光	①会計区分	一般会計		
③中項目		②財源区分	町単独		
④施策		③予算科目	款	7	項 1 目 3
⑤施策コード	6.4.0.0	掲載ページ	105	ページ	
④予算事業名	観光施設等管理事業費				
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務				
②根拠法令・条例等	①総合戦略 (該当事業名)				
③事業期間	開始	不明	年	月	から
	終了	未定	年	月	まで

## 2 事業の目的・内容等

(1)目的(何のために行うか)	(2)内容(どのような取り組みか)
来訪者へ安全で快適な観光施設と正確な情報を提供することにより町に対する印象と信頼を高め、交流人口の増加による町の発展に寄与する。	ハイキングコース道標、東屋、観光案内板、公衆トイレ等の観光施設の維持管理を行う。仙元山見晴らしの丘公園については、指定管理者制度による運営を行う。
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
・観光客(国内外) ・町民 ・事業者	来訪者を増加させることが農林業や商工業の発展に繋がるとともに町への移住のきっかけにもなることから、町の活性化が期待できる。
対象数	入込観光客数
単位	人

## (5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

・公衆トイレ清掃費、ハイキング道除草費等の維持管理費用の抑制、施設破損や倒木等の不具合状況の早期発見のためには、行政区や地域住民の協力が不可欠である。

・スマートフォンの所持、カーナビゲーションの普及等のデジタル化が急激に進んだものの、道標や案内看板等のアナログ的な整備は、未だに求められるものである。平成14年～16年度に町内全域に整備した木製道標の劣化が進行しており、また、観光案内看板の情報が古くなっているため、再整備のための財源の確保が課題となる。

・地域資源とは、施設の適切な維持管理を含めて評価されるものであるため、相応の町負担が必要となる。

## (6)SDGsへの貢献



## 3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容) 名称		観光施設等管理事業費				
(2)事業費内訳	項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算
						今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳	報酬		0	0	0	0
	報償費		0	0	120	120
	需用費		485	431	434	5,741
	役務費		228	228	1,116	1,241
	委託料		5,957	5,896	4,974	5,437
	その他		4,091	3,315	2,626	5,136
直接事業費合計			10,761	9,870	9,270	17,675
(3)財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他特定財源		1,500	1,200	800	0
	一般財源		9,261	8,670	8,470	17,675
	合計		10,761	9,870	9,270	17,675
(4)補助金名		まちづくり寄附金				
(5)人件費						
(6)総事業費	投入職員数		0.8	0.8	0.8	0.8
	年間人件費		6,102	6,034	6,017	6,218
サービス量(人)			494,799	699,362	693,587	587,363
サービス単価			34.1	22.7	22.0	40.7
(単位)		円/入込観光客1人当たり				

4 指標の検証				観光施設等管理事業費			
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度) 決算	今年度(R7年度) 予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量)							
指標名		目標値					
		実績値					
		達成率					
		目標値					
		実績値					
		達成率					
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)							
指標名	入込観光客数(総振目標指標p106) R7年度目標値 780千人/年	目標値	千人	780	780	780	
		実績値	千人	694	587		
		達成率	%	89.0	75.3		
		目標値					
		実績値					
		達成率					
(3)その他指標に現れない成果							
5 事業評価							
(1)項目別評価							
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている		
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である		
					3 その他( )		
妥当性	実施主体の妥当性	2	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている		
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である		
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している		
2 他に有効な代替手段が見当たらない							
3 その他( )							
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している		
					2 サービス単価を維持している		
					3 その他(設備の修繕費の増加に伴い、単価が増加した。)		
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている		
					2 おおむね公平に分配されている		
					3 その他( )		
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている		
					2 成果指標は、前年度より向上している		
					3 その他(成果指標は、若干下がったものの、概ね維持している)		
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した		
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した		
					3 その他( )		
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)							
・施設の長寿命化のためにも部分補修や塗装等のメンテナンスを計画的に実施する必要がある。 ・道標や観光案内板等の劣化対応については、町内の広域な再整備や、国や県の補助金を活用できる手法を検討し推進する。							
6 事業の方向性の判断							
				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明					
(1)一次評価 (担当課長)	2 現状維持	施設を安全に利用してもらえるよう、地域住民の協力も得ながら適切な維持管理に努めていく。					
(2)二次評価 (政策推進課長)							
(3)最終評価 (町長)							